

YOTSUBA の 風

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 学校通信 第11号 平成29年8月29日発行



二学期のスタートに向けて

夏休み中に大きな事故もなく、こうして皆さんが元気に登校できたことを大変うれしく思います。夏休み中、皆さんの活躍をたくさん目にしました。市総体、県大会、全国大会、さらには世界大会等、大変お疲れ様でした。真剣に競技する姿、最後まで全力で戦う姿、チーム内で互いに声を掛け合い励まし合う姿に、改めて四ツ葉生の素晴らしさを感じました。文化部等の活躍に関しても、書道展覧会への出品や吹奏楽部のコンクールでの演奏等、皆さんが真剣に打ち込んでいる姿が伝わり、大変感動しました。書道の作品を見て、私は技量的なことは判断できませんが、あれだけたくさんの文字を丁寧に書き上げる集中力、そして体力は素晴らしいものだと感心しました。さらには夏季合宿や課外等で真剣に勉強に打ち込む姿、それぞれの皆さんが、充実した日を過ごすことができたと感じています。

皆さんに質問です。夏休み全般を通して、自己採点するとしたら何点ぐらいになりますか。70点以上という人は？、50点以下という人は？

やり切れなかったことへの思いや夏休みの過ごし方に対して後悔を感じている人もいますね。なかなか計画通りには進まないことも事実です。だらだらと過ごしてしまった人も、今日から2学期がスタートです。過去を振り返らず、前を向いて2学期を突き進んでください。「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」、気持ちを切り替えていきましょう。6年生の中には、焦っている人もいるかもしれません。まだまだ、間に合います。私たち教職員も全力で応援しますので、学習計画を着実に実行していきましょう。

話しの方向を変えます。先にも述べましたが、皆さんが何事にも前向きに取り組んでいる姿は、大変素晴らしいと感じています。その中で、あえて皆さんにお願いすることは、実社会の中で生き抜いていくために、『社会的な抵抗力』を高めて欲しいということです。四ツ葉学園での生活は、入学から6年間、学校環境が大きく変化することはありません。安定した時間を過ごせる分、ある面で無菌状態の感覚（無防備な状態）にもなっているかもしれません。世の中の悪いことを積極的に覚えろという訳ではありませんが、私たちが成長してきた時代には、様々な体験や周囲の人との会話をとおして、良いことや悪いことを教わりました。そして同時に、悪いことに近づかない方法や、悪いことをした場合には社会から冷たくされることも教わりました。時間をかけて自己防衛力や自己抑止力を高めていくことができた時代だったと思います。比べて、現在の状況は、ネット環境が発達し、扉を開ければ、すぐにたくさんのものが手に入ります。また、たくさんの事ができます。情報モラル講習会等、ネット社会の危険性について学習する機会はありますが、情報機器の発達に追いついていけないのも現状です。だからこそ、普段の学校生活の中でも、様々な場面をとおして、自分自身を守るための判断力を一層高めて行かなければならないと感じています。インターネットやスマートホンの悪い面だけを強調するつもりはありませんが、悪いことをするための方法も簡単に手に入るのも事実です。繰り返しになりますが、何が危険なのか、どんな危険が潜んでいるのか、何が悪いことなのかを、しっかりと見極める力も高めてください。(校長式辞)

祝 世界大会 第3位

8月8日からクロアチアで行われた、バトントワーリングの世界大会である『第9回WBTFインターナショナルカップ』に4年3組の新井太智くんが日本代表として出場し、見事**3位入賞**を果たしました。

始業式の最後に、その見事な演技を生徒全員の前で披露してくれました。素晴らしい演技に拍手喝采でした。

